Continue

"can" も "be able to" も、どちらも「〜できる」を表す英単語。どちらも中学英語で教わるごくごく基本的な表現です。でも、こんな疑問を抱いたことはありませんか？この2つ、何が違うんだろう……と。同じ意味なら、単語も一つだけでいいはず。でも、実はどちらか一方しか使えない場合もあるのです。今回は、そんな "can" と "be able to" の使い分けをまとめました。can と be able to、どちらを使う？"can" と "be able to" はどちらか一方しか使えない場合と、両方使えるもののどちらかがより好んで使われる場合とがあります。どちらも使える場合"can" を使う場合"be able to" を使う場合それぞれの場合での使い方を順番に見ていきましょう。canもbe able to も使える場合現在形で「〜できる」を表す場合には基本的に "can" も "be able to" も両方とも使うことができます。ただし、口語では "can" が使われることが圧倒的に多く、"be able to" はほとんど使われません。下の2つの例文をみてもわかるように、会話では "can" を使ったほうがすっきりしていてナチュラルです。 He can swim. He is able to swim.[彼は泳げます」 I can speak five languages. I am able to speak five languages.「私は5カ国語を話すことができます」can を使う場合次に、"can" で表すことが多いのはどんな場合か見てみましょう。冒頭で紹介した、現在形の「〜できる」には本来なら "can" も "be able to" も両方使えるはずですが、そのなかでも特に以下の場合は、一般的に "can" で表すほうが多いんです。受動態の場合 Tickets can be purchased online.「チケットはインターネットで購入することができます」 This product can be used in a microwave.「この製品は電子レンジが使用できます」 主語がモノの場合 This room can accommodate up to 200 people.「この部屋は200人まで収容することができます」 This stapler can staple up to 50 sheets of paper.「このホッチキスは50枚まで留められます」be able to を使う場合"can" が使えず、必ず "be able to" を使う場合をみてみましょう。以下の4つのパターンがあります。助動詞と一緒に使う場合"can" は "I will can 〜" のように、助動詞の後ろで使うことはできません。will, should, would, must, may, might などの助動詞と一緒に使う場合には必ず＜助動詞 + be able to＞の形になります。 I will be able to attend the meeting tomorrow.「私は明日のミーティングに出席することができますよ」 Applicants must be able to speak fluent French.「（募集要項で）応募者は流暢なフランス語を話せなくてはいけません」不定詞 toの後ろで使う場合"can" は "to can" といった使い方ができないため、"to" の後ろで使う場合は必ず＜to be able to＞になります。 I want to be able to speak English fluently.「私は英語を流暢に話せるようになりたい」 You don't need to be able to read music to learn guitar.「ギターを習得するのに楽譜が読める必要はありません」完了形で使う場合完了形は＜have/had + 過去分詞＞で表しますが、"have" や "had" の後ろに "can" を持ってくることはできません。したがって、ここでは必ず＜have/had been able to＞になります。 I haven't been able to access Facebook since last night.「昨日の夜からずっとFacebookにアクセスできないんです」 She hasn't been able to eat much lately.「彼女はこのところあまり食べれてないんです」過去のある特定の場面での「〜できた」過去に「〜できた」という一回限りの動作を表す場合には "can" の過去形である "could" は使えません。この場合には必ず "was/were able to" で表します。 She was able to find a job in New York after graduating.「彼女は卒業後、ニューヨークで仕事を見つけることができた」 I was able to get some sleep on the plane.「飛行機では少し寝ることができました」過去の「〜できた」は、日本人が特に間違えやすい表現なので、次の章でさらに詳しく解説します。【過去編】could と was/were able to、どちらを使う？「〜できる」の過去形は「〜できた」ですよね。実は "can" と "be able to" の使い分けで最も注意しなくてはいけないのは、現在形の「〜できる」ではなく、過去の「〜できた」を表すとき。"was/were able to" しか使えない場面にも関わらず、多くの人が "could" を使ってしまっているミスが起こりがちです。ここからは "could" と "was/were able to" の使い分けを見ていきましょう。could を使う場合過去の能力としての「〜できた」を表す場合過去に持っていた能力を「〜できた」という場合は、一般的に "could" で表します。 I could walk when I was ten months old.「私は生後10ヶ月のときに歩くことができた」 My sister could speak Spanish when she was young.「姉は若いときにはスペイン語を話せた」知覚動詞とともに使う場合see, hear, feel, smell, taste などと一緒に使って表す過去の「〜できた」も "could" で表します。 The hotel was great and we could see the ocean from our balcony.「ホテルは素晴らしく、バルコニーからは海が見えた」 I could smell these flowers from across the street.「通りの向こう側からこの花のいい香りがしたよ」was/were able to を使う場合過去に「〜できた」という一回限りの動作・出来事を表す場合は必ず "was/were able to" で表します。ここで "could" は使えません。"could" は過去のある期間、継続して「〜できていた」という能力を表すのに対し、"was/were able to" は過去のあるときに「〜することができた」という、その場限りの成功を表します。ここで、先ほど紹介した例文をもう一度見てみましょう。 She was able to find a job in New York after graduating.「彼女は卒業後、ニューヨークで仕事を見つけることができた」 I was able to get some sleep on the plane.「飛行機では少し寝ることができました」どちらも過去の継続した能力ではなく、一回限りの「〜できた」という成功を表していますよね。ですので、"was able to" が正解です。また、「（なんとか）〜することができた」というニュアンスを表す場合には "was/were able to" の代わりに "managed to" が使われることもよくあります。 I managed to get some sleep during the flight.「飛行機の中では何とか少し寝れましたよ」 He managed to catch the bus just before it left.「彼は何とかギリギリでバスに間に合った」couldn’t はどちらの場合にも使える"was/were able to" しか使えない、一回限りの動作・出来事を表す場合でも、否定形になると "couldn't" を使うことができます。 She couldn't find a job after graduating.「彼女は卒業後、仕事を見つけることができませんでした」 I couldn't sleep during the flight.「飛行機の中では寝られませんでした」まとめ日本人からするとなかなかニュアンスをつかみにくい"can" と "be able to" の違い。"be able to" で表す場面で "can" を使っても、相手が汲み取ってくれるかもしれませんが、きちんと使い分けできたほうが、ぐっとネイティブ表現に近づきます！"can" や "could" は普段からよく使っていても、"be able to" はあまり使いこなせていない……という方は、今回紹介した使い分けをマスターして、すっきり使い分けてくださいね。 メールの最後に書くときです。ものすごくかしこまった表現と、ものすごくフランクなものの2パターンを教えてください^ ^ 107 234959 回答 Please email me anytime if you have any questions. Please feel free to contact me if you have any inquiries. あまり変わりませんが^o^ 1 質問があったらいつでもメールしてください。 2 [質問などあれば、どうか遠慮なさらずにご連絡ください。](＜ボキャブラリー＞ anytime =[いつでも](questions = 質問 inquiries = 質問、問い合わせ contact = 連絡する 役に立った 58 回答 You can e-mail me anytime! Should you have any questions or need more information, please do not hesitate to contact us. 1は「[いつでも](メールしてね。」という感じのかなりフランクな書き方です。 ビジネス相手でも、何度か[メール](でやりとりしていると、だんだんうちとけてきます。 ときどきくだけた表現をいれると更に親近感もわきますよね。 2は、かしこまったビジネスライクな定型文です。 役に立った 24 回答 Should you need any help, please feel free to contact me. Just let me know if you need anything.「何かありましたらお気軽にご連絡ください」の『かしこまった言い方』は、 "Should you need any help, please feel free to contact me." これは仮定法"if"を省略した言い方ですが、よくビジネスメールなどで使います。元の文は、 "If you should need any help, please feel free to contact me." 仮定法"if"の後にある"should"は、「万が一～なら」という意味になります。『フランクな言い方』は、 "Just let me know if you need anything." この"let"は使役動詞で"let me know"は「私に知らせて」という意味です。 ご考えになれば幸いです。 役に立った 12 回答 Don't hesitate to let me know if you need anything. Should you have any questions, please do not hesitate to contact us. こんにちは。 様々な言い方ができると思いますが、例えば下記のような表現はいかがでしょうか： ・Don't hesitate to let me know if you need anything. 何かあったら遠慮なく言ってね（カジュアル） ・Should you have any questions, please do not hesitate to contact us. ご質問等ございましたらお気軽にご連絡ください（フォーマル） do not hesitate は「遠慮しないで」というニュアンスを持つ英語表現です。 ぜひ参考にしてください。 役に立った 9 回答 Feel free to contact me if you need anything. Let me know if you need anything. 以下のように表現することができます。 Feel free to contact me if you need anything. 何かありましたら遠慮なくご連絡ください。 Let me know if you need anything. 何か必要なら連絡してね。 feel free で「遠慮なく」のニュアンスを英語で表現することができます。 お役に立てれば嬉しいです。 またいつでも質問してください。 役に立った 4 107 234959 英語学習者にとって、もっとも全体像を捉えにくい英単語のうちの 1 つが “as” ではないでしょうか。その使い方をざっと列挙してみると……～のように～につれて～しているとき～だから～だければ～のように～としてのように～として などの意味に当たるのを文脈から判断しなければならないケースはよくあります。まずは “as” のコアイメージを捉え、そしてそれぞれの使い方を見ていきましょう。suchの意外な活用法はこちら→「そのような」だけじゃない！“such”の意外な意味と使い方を徹底解説さまざまな使い方がある “as” ですが、そのコアイメージは「2 つの並べられた物・事が等価の関係にある」です。つまり、“as” が使われている文章では、何かと何かがイコールであることを伝えようとしているのです。 As he grew up, he became healthy.「彼は成長するにつれて丈夫になった」この場合、“he grew up” と “he became healthy” はイコールと考えられます。 My brother works at a museum as a curator.「私の兄 / 弟は美術館で学芸員として働いている」こちらの “as” でも “my brother” と “curator” がイコールであることがわかります。 の用法であってもこのイメージが基本です。そして、その「イコール」を保ったまま “as” は「類似性」「同時性」「理由」「逆接」「役割」の 5 つの意味に分けられます。次の章からそれぞれ解説していきましょう。“as + 形容詞 / 副詞 + as ○○” で「○○と同じくらい～だ」という比較を表します。 She seems to be as tall as I(me).「彼女は私と同じくらい背が高いようだ」1 つの文の中に “as” が 2 つありますね。それぞれ解説すると、1 つめの “as” は副詞であり、直後の形容詞 “tall” を修飾して「同じくらい（背が高い）」という意味を持ちます。対して、2 つめの “as” は接続詞です。この接続詞は「～であることと比べて」という意味を持ちます。本来であればそのあと “as tall as I am tall” とSV構造が入ります。She seems to be (as tall){as I am tall}.=「彼女は{私が背が高いことと比べて}(同じくらい背が高い)ようだ」というように分けて考えるとそれぞれの“as”の働きがわかります。動詞（ここではbe動詞）以下は前と同じであるため省略され、さらに “I” は、慣用的に目的格の “me” となるのが一般的です。 Swing your racket as I do.「私がやるようにラケットを降ってください」 Swing your racket as I swing my racket.“Swing your racket as I do.” としています。ただし、as + 形容詞 / 副詞 + as の文と違って、目的格を使用して “Swing your racket as me.” という表現は使えないのでご注意を！“as” には時を表す節を導く接続詞としての役割もあります。類似する接続詞に “when” と “while” がありますが、これらの違いは以下のようになります。 when（～するとき）ある行為が行われる時点に関心が置かれる。瞬間的な時間while（～しているあいだ）ある行為の背景に関心が置かれるas（～するとき、～しながら）2 つの事態が等価の関係に置かれている。継続的な時間ちょっと難しいですね（笑）。次の例文で考えてみましょう。 The postman came just as I left home.「私が家を出たときに、郵便配達人が来た」この例文で、家を出たという行為をしているときの私は、郵便配達人が来たことに対して特に関心を持っているわけではありません。asを使うのは、こういった「いつの時点の話なのか」ということに関心がなく、「私が家を出た」と「郵便配達人が来た」ことの関係性が等価に置かれている場合です。 「郵便配達人が来た」ことに関心がある場合には “When I left home, the postman came.” となります。また、こちらの例文では、継続的な時の流れのなかで「成長する」と「食べ物の好みが変わる」という2つの事態が並置されています。 As she grew up, her food preferences changed.「成長するにつれて、彼女の食べ物の好みは変わった」これが「同時性」のasです。 「～だから」と理由を説明するためにも使用されます。“because” との違いとして、“as” は相手がその理由を知っている、または状況的に明らかなことを伝えるときに使用されます。その例、理由を強調して伝えたい場合は “as” は適切ではありません。“because” を使いましょう。 As John passed the exam, we held a party for him.We held a party for John, because he passed the exam.「ジョンが試験に合格したので、皆でためにパーティーを開いた」上の文は聞き手がジョンの合格を知っていることを前提にしている文であり、下の文は聞き手がそれを知らず、聞き手にパーティーを開催した理由を特に伝えたい場合の文です。 As it is dark outside, drive carefully.「外は暗いので気をつけて運転して」外が暗いことは状況的に誰からも明らかです。そのような場合ではこのように “as” が使用されます。 名詞・形容詞・副詞・動詞の原形の後に “as” を用いて、もう一方の節と対比することで逆接の意味を持たせることができます。 Cold as it was, he didn’t wear a coat.「寒かったが、彼はコートを着ていなかった」 Talented scholar as he was, he did not receive any awards.「彼は才能豊かな学者だったが、賞を受賞することはなかった」“Cold as it was” に “Talented scholar as he was” ……。なんだか不思議な文法ですよね。シンプルに “As it was cold” や “As he was talented scholar” じゃダメなの？ と疑問に感じるかもしれませんが、これはもともと “It was cold as it was”、“He was talented scholar as he was” という節であり、そこから頭の “It was” や “He was” が省略されていったという説があります。このasを含む節には「ご覧のように、ご存知のように」と強調するニュアンスがあり、強調した結果、「それにもかかわらず」と後の節との対立を暗示するというわけです。 「～として」と職業や役割、性質を表すことができます。続く名詞が職業・役目・資格・性質などの抽象概念を意味する場合は無冠詞になり、個人または個々の物を意味する場合は a(an)をつけます。 This sentence is made as a good example.（個々のものを表すので冠詞付き）「この文章は良い例として作られた」 I joined the medical team as nurse.（職業を表すので無冠詞）「私はその医療チームに看護師として参加した」regard A as B（AをBと見なす）で、目的語Aの補語Bを表すことができます。補語は名詞だけでなく形容詞も用いられます。 I regarded him as a good man.（名詞）「私は彼を善人と見なした」 He is regarded as untrustworthy by his colleagues.（形容詞）「彼は同僚から信頼できないと見なされている」“as”を使ったイディオムは非常に多く、上記の「類似性」「同時性」「理由」「逆接」「役割」の5つの意味だけでは説明しきれない場合もあります。そのため、ひとつひとつ覚え、慣れることが一番の近道です。 Submit the report as soon as possible.「レポートをできる限り早く提出してください」 There is not the key in this room as far as I searched.「私が調べた限りでは部屋に鍵はない」 You can stay here as long as you want to.「あなたが望む限りここにいてよい」※as far asが知識、意見、視野の範囲なのに対し、as long asは条件、時間、期間の範囲です。 The plate is made of metal such as stainless steel.「プレートはステンレス鋼等の金属から作製されている」 The new product looks the same as the old one.「新製品は旧型と同じ見た目である」 As for that matter, we will discuss it at the next meeting.「そのことについては次回の会議で話し合う予定だ」 The old shelf is sold as is.「古い棚は（修繕等を施すことなく）そのままの状態で売られている」以下の文章の “as” は「類似性」「同時性」「理由」「逆接」「役割」のうち、どのような働きをするか当ててみましょう。 Our company introduces an appropriate constructor as a consulting service.The patient’s health got better as time went on.The player jumped was as high as the world record.Good player as he was, even he couldn’t take part in the Olympics.As the economy is in recession, many manufacturers’ performances has slumped recently.弊社はコンサルティングサービスの一環として適切な建設業者を照会します（役割）患者の容態は時がたつにつれて良くなった（同時性）その選手は世界記録と同じぐらい高く跳んだ（類似性）彼は良い選手だったが、それでもオリンピックに出場できなかった（逆接）景気が悪いため、近頃多くの製造業者の業績が不振に陥っている（理由）“as” の意味は多岐にわたるため、理解しようと思うととても難しいです。まずは解説したコアイメージをしっかりと捉え、慣れないうちは “as” が出てきたら辞書を引くなどしてその意味を復習するようにしましょう。そうすれば徐々に “as” の全体像を把握することができるようになりますよ！ ビジネスメールの最後につける書き方です。 314 412616 回答 Should you have any questions please feel free to contact us at anytime. エリックさんが最も適格なお答えをアドバイスしてくれていますのでここではあえてもう一つの超ビジネス的な、固くて[丁寧](なお表現を一つだけ追加しておきますね。 ポイントは、“if” を “should” に入れ替えた表現。 “if” は “もし” ですが、“should” にすると“・・・[すべき](” というのが直訳。従って、表現を全体的に直訳すると、“もしご質問などがあるべきなら・・・” となりますが、同時に意訳すると “if” よりは“ご自分の気持ちとはウラハラにどうしても質問があるなら、質問を持ってしまうことがあったら” という、ちょっとばかり相手に質問しやすいムードを与えた“敬語”感覚で使える表現ですね。 私も超丁寧に接したい時はどちらかというとこの “should” を使った表現をよく使っていました。 合わせてご参考になればと思います。 役に立った 121 回答 Please feel free to contact us if you have any questions. Please do not hesitate to contact us if you need any further information. Please let me know if you have any questions. Please feel free to contact us if you have any questions. 何か質問があれば遠慮](なく連絡してください。 Please do not hesitate to contact us if you need any further information. 他に何か知りたいことがあれば遠慮なく連絡してください。 Please let me know if you have any questions. 何か[質問](があれば言ってください。 上記はビジネスメールの最後によく使われる表現です。「遠慮なく」は「feel free」や「hesitate」などを使います。「hesitate」は「躊躇する」や「[ためらう](」という意味なので「Do not hesitate」で「遠慮しないで」という意味になります。 ＜ボキャブラリー＞ contact = 連絡する feel free = 遠慮しないで questions = 質問 do not hesitate = 遠慮しないで further information = さらなる情報 役に立った 80 回答 1. Should you have any questions, please feel free to ask. 2. Do let me know if you have any questions. 3. Any questions are appreciated. 1. should you を使うとビジネスメールらしくなるので是非使ってみてください。 2. 普通ならLet me know if you have any questions. で良いのですが、文の頭にDoを付けると質問文を強調することができます。 3. 直訳すると「どんな質問でも感謝します」になります。「どんな質問でも歓迎します」という感じですね。 言い方は沢山ありますがどうぞ覚えやすいものから使って下さいね！ 役に立った 25 回答 Should you have any questions, please do not hesitate to contact us. Should you have any questions or need more information, please let us know. 他の方もおっしゃっていますが、 Shouldで始めるとすごく丁寧なビジネス文書のような印象を受けるし、なんとなくかしこくみえる（笑） 気がする。 高校の英語のグラマーで習ったことがこんなところで実際に使われるんだ～ っていうのを海外の取引先からのメールでみたときはちょっと感動しました。 If you should have any questions, please feel free to contact us. Ifを省略した構文に書き直せ！なんて問題があったよなぁ～って（笑） そのときのよく覚えてたフレーズ「万が一のShould」！「もし万が一質問があれば．．．」 If を消して You should have any questions... で、YouとShouldをひっくり返す → Should you have any questions,... 仮定法？倒置構文？ なつかしー 役に立った 17 回答 If you have any questions, please don't hesitate to ask.「遠慮なく」は、don't hesitate で表現できます。feel free でもよいです。 私も外資にいた頃は、Should you have any questions も、日本人がよく書いているのを見ましたが、ネイティブによれば、ちょっとかしこまり過ぎてる感じがするとのことです。もちろん、ものすごく丁寧な印象を出したいなら間違ってるわけではないのですが、日本人のメールは丁寧すぎることが多いので、If you have any questions でいいのではないでしょうか。 役に立った 14 回答 Please, feel free to contact us if you have any questions Please, do not hesitate to ask any questions The example you wrote is a good one although you need to put one more comma after "please". In case you want to know how else you can write down the same sentence, I wrote two of them. Basically, they are the same but I personally see the first one as a more preferable option. あなたの考えた例も使えます。ただ、"please" の後にもう一つコンマが必要です。 他の言い方も知りたいかなと思いまして、二つ例をご紹介しました。これらは基本的に同じ意味ですが、個人的には一つ目がおすすめです。 役に立った 13 回答 Should you have any questions, please feel free to contact me. I am happy to answer any questions you may have. Please do not hesitate to ask any questions. In order to make it clear that it is acceptable to ask questions, we should include phrases like 'please do not hesitate', 'I would be happy to answer any questions', 'feel free to contact me' etc. Phrases like this put the recipient at ease and make it clear that it is okay to ask questions and that you are prepared to answer them. Phrases like this are normally placed at the end of an email after another piece of information has been provided. By adding a sentence expressing that questions are okay to ask, we are ensuring that the recipient of the email has understood all the information provided to them and they are free to ask for any clarifications. 質問をして構わないとはっきり伝わるように、 'please do not hesitate'（遠慮なく～ください）'I would be happy to answer any questions'（喜んでご質問にお答えします）'feel free to contact me'（お気軽にご連絡ください）などのフレーズを加えた方がいいです。質問をして構わないとはっきり伝わり、相手を安心させることができます。 こうしたフレーズは何かしらの情報を伝えた後、普通メールの最後に置かれます。相手が情報を完全に理解できるよう、「分からないことがあれば質問してください」と伝えます。 役に立った 11 回答 If you have any questions, please let me know. Please feel free to contact me anytime. 1) Let me knowは、[私に知らせて]という意味です。例えば、 please let me know when we will have a next meeting.「次回の会議の日が決まったら教えてください。」ということもできます。Let me know は日常会話でよく使えるフレーズです。 2）feel free to ということには「お気軽に」という意味です。質問という単語をいれない方が堅苦しくなく、相手も気兼ねなく質問できるようなフレーズです。 役に立った 7 回答 Should there be any inquiries, do not hesitate to reply. If you have any question, kindly feel free to ask me. For more inquiries, you may reply to this email. 他に“Should there be any inquiries, feel free to contact me through this email.”とも言えます。 ”Questions”の類義語には、”Inquiries” や ”Queries” などがあります。 2 つめのアンサーは、若干カジュアルな響きを持ちます。 役に立った 6 回答 Do not hesitate to contact me if you have any questions. If you have any questions, please feel free to ask. Should you have any further questions, please let me know. Do not hesitate to contact me if you have any questions. "Do not hesitate" is a term native speakers often use. If you hesitate, that means you are not sure yet what/if you want to do something. If you say "do not hesitate", it means that you should not feel reluctant to ask something. In this case, you are saying that the person can contact you no matter what, without having any reluctance. (reluctance means hesitance.) If you have any questions, please feel free to ask. In this sentence, you are also stating that the person can contact you anytime, should they require further information. Should you have any further questions, please let me know. "Should you have any further questions" just means: if the person has any further questions. In this case you are saying that if the person has any questions, they can let you know and you will be happy to help them. Do not hesitate to contact me if you have any questions.（質問があればお気軽にご連絡ください）"Do not hesitate" はネイティブがよく使うフレーズです。"hesitate" は「～をためらう」という意味です。"Do not hesitate" で「遠慮せずに～する」という意味になります。ここでは、「遠慮せずにご連絡ください」と伝えています。 （"reluctance" は "hesitance"（ためらい）の意） If you have any questions, please feel free to ask.（質問があれば遠慮せずに聞いてください）これも同様に、「質問があればいつでも連絡をください」と伝えています。 Should you have any further questions, please let me know.（質問があれば、お知らせください）"Should you have any further questions" は単に "if you have any further questions"（質問があれば）の意味です。ここでは「質問があればお知らせください、喜んでお答えします」と伝えています。 役に立った 4 回答 Please let me know if you have any questions. Feel free to ask any questions you may have. 以下のように表現することができます。 Please let me know if you have any questions. Feel free to ask any questions you may have. feel free で「遠慮しないで」を英語で表現することができます。 お役に立てれば嬉しいです。 またいつでも質問してください。 役に立った 4 回答 If you have any questions, feel free to ask me. If you have any questions, do not hesitate to ask me. Should you have any questions, please feel free to contact us. 質問があったら、という部分は単純にIfでも良いですが、Shouldを使えばややかしこまった表現になります。 「遠慮なく」、という部分は Feel free to ～ Do not hesitate to ～ と表現すれば良いでしょう。 役に立った 3 回答 Feel free to consult with me if you need assistance. Feel free to get in touch for any concerns. Let me know if you have any questions and I will be happy to assist. Use the sentences above to express this idea. Assist: help Consult: ask advice from someone Assistance: help Get in touch: make contact Feel free to: be at ease, don't worry about これは上記のように言えます。 Assist: 助ける Consult: 助言を求める Assistance: 助け Get in touch: 連絡する Feel free to: 遠慮なく、気軽に 役に立った 3 回答 Please ask any questions you may have Please ask any questions that you would like to put to me In a business email, you want to say something like "Please feel free to ask me any questions if you have any". The above suggestions are appropriate for this scenario. ビジネスメールで、"Please feel free to ask me any questions if you have any"（何か質問があったら遠慮なく言ってください）のようなことを言いたいということですね。 上の例はどちらもこの状況で使うことができます。 役に立った 3 回答 Should you have any questions, please do not hesitate to ask. Should you have any questions, please do not hesitate to ask. 「質問がございましたら、遠慮なく言ってください」 上記のような言い方ができます。 do not hesitate で「遠慮しないで」のニュアンスになります。 例： Please do not hesitate to tell me if there's something you need. 何か必要なことがあれば遠慮なく言ってくださいね。 役に立った 3 「お願いがあるんですが？」と改まって頼みたいことがある時。 608 549426 回答 There's something I'd like to ask you Can I ask you something? Could I ask you something? Hey there Konan! ユーコネクトの英語コーチのアーサーです！ 丁寧に言うと、 There's something I'd like to ask. 日本語では、[お願いする](という単語を幅広く使えます。 でも英語は、お願いするのような言葉がありません。 場面によって言い方が違います。 ビール、お願いします Beer, please! お願いしたいことがありますが、 There's something I want to ask you.（初対面で）[よろしくお願いします](。 Nice to meet you! この場合は、「ask」を使います。 英語での頼み方は、場面によって言い方が違います。 押し付けないように、質問で頼みます。 Can You/I do this? Can I ask you something? Could You/I do this? Could I ask you something? さらに丁寧に言いたい時Mayを使います。 May I do this? May I ask you something? さらに丁寧でちょっとフォーマルな言い方は Would it be possible to ～ Would it be possible to ask you something? よろしくお願いします！ アーサーより 関連した英語表現については、こちらのブログ記事をご覧ください：[「Could you ～」と「Would you ～」その決定的な違いとは！？](役に立った 221 回答 Could（Would）you do me a favor? [お願い](を実際にする前に、 「お願いがあるんですけど..」 といいたいときに使える表現。 これを聞いた人は、すぐにＯＫするのではなく、 "(Please) Go ahead." [どうぞ](と言って、そのお願いは何なのか、きちんと言ってもらって確認めるようにしましょう。 例： A: Could you do me a favor? お願いがあるんですけど... B: Go ahead. どうぞ。 A: Could you help me with this report? この報告書の手伝いをしてくれますか？ 役に立った 134 回答 Can I ask you a favour? Would you do me a favour? Can I ask you a favour? カジュアルに言う時はCanでいいでしょう。 Would you do me a favour? 改まっていう時は、WouldやCouldを使ようにしましょう。 お願いは"favour"という名詞で表現しましょう。（アメリカ英語では、"favor"という綴りになります）役に立った 100 回答 I have a favor to ask. I have a favor to ask. お願いしたいことがあるのですが。 なんとなくかしこまった雰囲気のフレーズです。 気持ちに合ったトーンで聞いてみて下さい♪ 役に立った 51 回答 Could you do me a favor? May I ask you something? Would you do me a favor? たくさん言い方はありますが、 favor を使った言い方はよくするので覚えて頂きたい表現です。 Could you do me a favor?で お願いごとしていいですか？頼み事をしていいですか？という意味です。 他、May I ask you something? でも、何か頼んでも良い？という意味になります。 役に立った 27 回答 Could you do me a favor? I'd like to ask you a favor... Do you mind ...ing? 何かお願いするときは、このフレーズを言うと相手も快く応じてくれます。 Could you...をつけると、丁寧な聞き方になるので、他の時にも使ってみてください。 Could you please send me a picture? もしくは、 I'd like to...を使うときはメールなどの文面で使うことが多いです。 Do you mind picking me up at the station? など、Do you mind...は日常会話で使えるフレーズです。 役に立った 13 回答 Do me a solid. I have a favor to ask. I have a request. 他の解釈や言い方： I have something to ask. Can you do me a favor? Do me a solidはアメリカのスラングです。 意味はお願いがあります。 ノート：「ですが」の部分は翻訳しなくてもいい。お願いするとき、文が柔らかく聞こえるため使います。 英語で言うとき、柔らかく丁寧な声を使ってください。 A: I have to leave work early today but I didn't finish the report. Could you do me a solid? B: No problem. I will do it for you. A:お願いがあるんですが。今日早く退社しないといけませんが、まだレポートを完了していません。 B:問題なし。やってあげます。 役に立った 13 回答 I'd like to ask you a favor. Could you do something for me? こんにちは。 様々な言い方ができると思いますが、例えば下記はいかがでしょうか： ・I'd like to ask you a favor. お願いしたいことがあります。 ・Could you do something for me? 私のためにしていただきたいことがあるのですが... favor は「親切な行為」のような意味の表現で、do a favor で「何かをしてあげる」ようなニュアンスになります。 ask a favor で「お願いをする」ような意味です。 ぜひ参考にしてください。 役に立った 10 回答 Can I ask you a favor? 「Can I ask you a favor?」と表すことができます。 ask someone a favor は「お願い事をする」の意味を持つ英語表現です。 なので、Can I ask you a favor? と言うと「あなたにお願い事をしてもいいですか？」となります。 下記は例文ですのでぜひ参考にしてください： A: Hi, can I ask you a favor? やあ、君にお願いをしてもいい？ B: What is it? 何？ 役に立った 5 回答 Can I ask you a favor? お願い事をしても良いですか？ There's something I'd like to ask you. Can I ask you a favor? お願い事をしてもいいですか？ There's something I'd like to ask you. お願いしたいことがあるのですが。 上記のように英語で表現することができます。 ask a favor は「お願い事をする」という意味の英語表現です。 お役に立てれば嬉しいです。 またいつでも質問してください。 役に立った 3 回答 I have a favor to ask you. おっしゃられている内容は、以下のように表現できると思いました(*^_^*) I have a favor to ask you.「お願いしたことがあります」 以上です。 少しでも参考になれば幸いです(*^_^*) 役に立った 1 608 549426 質問を受けて考えながら答え始めた結果、その内容が求められたものに応えられているか不安な時に使いたいフレーズ。 日本語での質疑応答でもたまに使いたくなりますよね^^； 122 100381 回答 Does that answer your question? 「それは（今説明したことは）あなたの[疑問](を晴らしますか？」という意味です。 定型文のようによく使われます。 他には： I hope that answers your question.「[答え](になっているといいのですが」こちらのような言い方もできます。 answer はここでは動詞の「答える」という意味です。 役に立った 40 回答 Am I answering right? Is my answer what you need? 「私はきちんと答えられていますか？」 「私の[答え](はあなたが[必要](とするものですか？」 "right" は「(状況などに)適切に、望ましく」という表現です。他に "rightly" "properly" "adequately" "accurately" などと言うことができます。 "what you need" は「あなたが必要とするもの・こと」ということを表します。 役に立った 21 回答 Does that answer your question? I hope that answers your question. こんにちは。 ・Does that answer your question? 「答えになっていますでしょうか？」「あなたの疑問を解消したでしょうか？」上記のように言うことが多いです。 他には、疑問文ではないですが、以下のようにも言います。 I hope that answers your question.「答えになっているといいのですが。」 ぜひ参考にしてください。 役に立った 15 回答 Does that make sense? Does that help? Is that clear? These are good to use when you are trying to be as helpful as you can, but you aren't sure if you are providing the exact answer that the person needs. They are casual and common phrases. 出来る限り手伝いたい、でも相手が欲しい答えかどうかがわからないと思っているときに使うことができるフレーズです。カジュアルでよく使われる表現です。 役に立った 10 回答 1. Did I answer that question correctly? 2. Did i answer that fully? 1. Here you want to check the actual answer was right. "Yes you answered it perfectly" 2. Here you want to know if you gave in your answer all the necessary details required. "Yes, you made no omissions in your answer." 1.答えが正しいかどうか確かめたいのならこちらです。 "Yes you answered it perfectly" はい、完璧な答えです！ 2. 求められているものをちゃんと答えられているかどうか確認したいときはこう言います。 "Yes, you made no omissions in your answer." はい、全く抜けているところがありませんでした！ 役に立った 6 回答 Does that answer your question? Did I answer that correctly? You can ask : 'Does that answer your question?' 'Did I answer that correctly?' 'Am I answering right?' 'Is it clear?' 尋ねる際のフレーズの使い方： 'Does that answer your question?'（この答えはあなたの質問に沿っていますか？）'Did I answer that correctly?'（その質問に正しく私は答えられてますか？）'Am I answering right?'（私の答えは大丈夫ですか？）'Is it clear?'（それは明らかですか？）役に立った 6 回答 Did that answer your question? This is a way to confirm if you answered their question.It is like you looking for reassuring. Reassurance is the the action of removing someone's doubts or fears. For example "Children need reassurance and praise" これはあなたが質問に答えれたかどうかを確認する言い方です。 安心して探っているような感じです。 Ressurance (安心) は、誰かの疑念や恐れを取り除くという行動です。 例） "Children need reassurance and praise"（子供たちは安心とご褒美が必要です）役に立った 5 回答 Was my answer satisfactory? Just to be clear and to avoid any confusion; was my answer satisfactory? Satisfactory: IE fulfilling expectations or needs; acceptable. When something is satisfactory we expect no complaints about it ;-) In this case an answer given. Did it "hit the mark" ? "Just to be clear and to avoid any confusion; was my answer satisfactory?" Satisfactory: 期待、必要性に応えている、条件を満たした satisfactoryは、それについて何も不満がないことです。 この場合では、答えが"的を得ているか"ということです。 例文 "Just to be clear and to avoid any confusion; was my answer satisfactory?" 曖昧さをなくし誤解が生じないようにしたいと思います。私の答えで納得がいきましたか？ 役に立った 5 回答 Does that answer your question? Does that make sense to you? It can be challenging sometimes to know if the person understands our explanations. These two examples should help you to deal with it. The first one is more polite and official, whereas the second one is more casual and would be perfect for using with friends or relatives. 相手が自分の説明を理解できたか確認するのはなかなか難易度が高いかもしれません。上の二つの例で対処できるはずです。 一つ目の例は丁寧でフォーマルです。 一方、二つ目の例はよりカジュアルで、友達や家族に使うにはピッタリです。 役に立った 5 回答 Does my answer fit the bill? Have I answered you correctly? Are you satisfied with my answer or should I explain it further? In the first question, you have used the idiom 'fit the bill' which means 'to be suitable'. Simply put, you are asking: Does my answer fit your question? Is my answer suitable? In the second question, you have asked precisely without ambiguity: Have I answered you correctly? In the last question, you have used the verb 'satisfy' in its past tense 'satisfied' which in this context means 'pleased because you have got what you wanted, or because something has happened in the way that you wanted'. And then you have used the verb 'explain' which in this context means 'to make something clear or easy to understand by describing or giving information about it:' 最初の質問では適切であるという意味の'fit bill'という慣用語を用いました。簡単に言うと次のように質問していることになります: Does my answer fit your question?(私の回答は質問に合っていますか？) Is my answer suitable?(私の答えは適切ですか？) 2番目の質問では曖昧さ抜きで明確に質問していることになります: Have I answered you correctly?(私はあなたの質問に正しく答えましたか？) 最後の質問では動詞'satisfy'(満足する)を過去形'satisfied'で用いました。それはこの文脈では求めていたものが得られて満足または求めていたように何かが起こったという意味です。そして動詞'explain'(説明する)を用いました。この文脈ではそれは何かを明確にするまたは説明することにより理解を簡単にするという意味です。 役に立った 3 回答 Does that help you understand better? Does that make it clear? You can ask “does that help you understand better” when wanting to make sure someone understand what you explained. 説明が理解できたか確認するなら、“Does that help you understand better”（お答えになっていますでしょうか）と聞けます。 役に立った 3 回答 Is my answer sufficient? Did I understand the question? Is my answer satisfactory? All of the examples above are acceptable ways to ask if you have understood and answered a question correctly. Asking 'is my answer satisfactory/sufficient?' is a more formal way of asking this. 'Satisfactory' and 'sufficient' are both adjectives that describe something that is acceptable or adequate. 3例とも、相手の質問を正しく理解し答えられていたか確認したいときに使うことができます。 'satisfactory' と 'sufficient' はどちらも、「満足のできる / 十分な」という意味の形容詞です。 役に立った 3 Thank you! Rest assured your feedback will not be shown to other users. 「do」と「does」の意味と使い方は基本の文法になるので、英語を学ぶ上で超初期段階で押さえておきたいところです。しかし意外とごちゃごちゃになりやすいのか、私自身アメリカに来て7年ですが、たくさんの留学生、そしてたまには英語ネイティブまでもが、do と does を間違えて使ってしまっているという場面に多々遭遇してきました。そこで今回は、「do」と「does」の意味と使い方を改めて解説していきたいと思います。 「do」と「does」の意味と使い方「do」と「does」の一般的な意味 do は「〜する」という動詞で、主語が下記のいずれかの場合に使われます。I「私」you「あなた、あなた達」we「私達」they「彼ら、それら」A: Do you like sushi?「あなたはお寿司が好きですか？」 A: Do they like running?「彼らは走るのが好きですか？」 B: No, they don’t. (No, they do not.)「いいえ、彼らは（走ることが）好きではありません」一方で does も、do とまったく同じ「〜する」の意味で使われます。do との違いは、主語が「私（I）」と「あなた（you）」以外の第3者（3人称）である以下のいずれかのときに使われるという点です。he「彼」she「彼女」it「それ」this「これ」that「あれ」 A: Does she want some soup?「彼女はスープが欲しいですか？」 B: Yes, she does.「はい、彼女は（スープが）欲しいです」 A: Does he play the guitar?「彼はギターを弾きますか？」 B: No, he doesn’t. (No, he does not.)「いいえ、彼は(ギターを)